

## ▼ トラサコール錠 [内] &lt;販売中止&gt;

【重要度】 【一般製剤名】 オクスプレノロール塩酸塩 (U) oxprenolol hydrochloride 【分類】  $\beta$ 遮断剤

【単位】 ▼20mg・▼40mg/錠

【常用量】 60～120mg/日

【用法】 分3

【透析患者への投与方法】 尿中未変化体排泄率が低いいため減量の必要はないと思われる (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】  $\beta$ 1非選択性でISAとMSAを有する $\beta$ 遮断剤。 $\beta$ 遮断作用はプロプラノロールと同等である。脂溶性のため血液脳関門を通過する。

【主な副作用・毒性】 心不全の誘発・悪化、気管支痙攣・呼吸困難、発疹、徐脈、低血圧、浮腫、めまい、頭痛、食欲不振、悪心・嘔吐、下痢、便秘、高圧、倦怠感・脱力感など

【モニターすべき項目】 血算、血糖値 (DM患者)、心機能、肝機能、腎機能、血圧、ECG、心拍数

【吸収】 消化管で100% (11) 90%であるが初回通過効果を受ける (U)

【F】 19～74% (1) 20～75% (11) 腎不全患者ではFが上昇する (Evans WE, ed: Applied Pharmacokinetics 3rd ed p8-1-8-49)

【tmax】 0.5～1.5hr (1,11)

【代謝】 大部分がグルクロン酸抱合体となる (1)

【排泄】 ほとんどが尿中に回収される (1) 尿中未変化体排泄率5%未満 (U,11) 95%以上は尿中に非活性代謝物として排泄 (11)

【t1/2】 約1.9hr (1) 1.4～4.6hr (11) 1.3～1.5hr (U)

【蛋白結合率】 80% (1,U) 70～80% (11)

【Vd】 1.3L/kg (11)

【MW】 301.81

【透析性】 蛋白結合率が比較的高く、除去されにくいと思われる (5)

【TDMのポイント】 TDMの対象にならない 【O/W分配係数】 1.6 (11) 【pKa】 9.4 (1)

【効果発現時間】 1hr以内 (1)

【効果持続時間】 6～8hr (1)

【更新日】 20120214

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。